

# IV-157 街並み景観の色彩分析

山梨大学大学院  
東京都足立区役所  
山梨大学工学部

学生会員 ○橋本正男  
班目好一  
正会員 横口忠彦

1. はじめに 本研究は、街並み景観の中で重要な要素となる色彩に焦点を当て、実際の街並みを、色彩の三属性（色相、明度、彩度）に基づいて分析し、街並み景観の色彩特性を明らかにすることを目的とする。

2. 街並みの選定と調査方法 街並みの機能と色彩とを対応させて捉えるという観点から、機能的には、さりとした特徴を示している各種の（商店街、オフィス街、住宅地、観光地の）街並みを調査対象に選定した。

調査方法は、晴天時に、建物の色彩とマンセル表色系の色票とを対比させ、調査した（図1）。

3. 分析 各街並みの色彩を、次の8つの項目により分析した（表1参照）。

(1) 色相数 機能上の相違が表われ、商店街が多く、住宅街や妻籠宿（色彩規制されている）は少ない。

■ 20%以上 ■ 50~99

■ 150~199 ■ 10~49

■ 100~149 ■ 0~9%以下

図6 明度-彩度分布

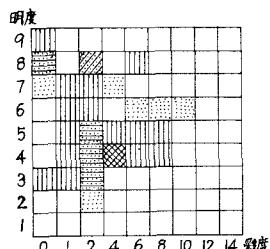
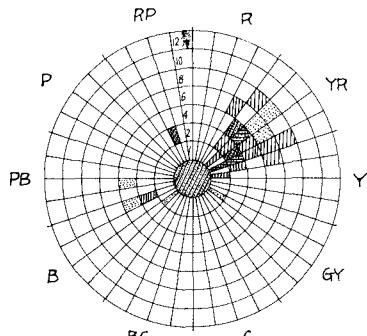


図5 色相-彩度分布



妻籠宿図1

